

【地区活動報告】

2022-2023年度のための「地区研修・協議会」

森本ガバナーエレクトは、4月17日(日)和歌山大学で、次年度のための「地区研修・協議会」を開きました。各クラブから、会長、幹事をはじめ、各委員長など、関係者の464名が参加。コロナ禍の中、感染防止に対応しての開催となりました。

森本ガバナーエレクトの開会点鐘で開始し、中野 次年度研修リーダーの地区研修・協議会目的、次年度・ガバナーの基本方針、地区予算案の説明が行われたほか、午後からは部門別に分かれ、担当の地区委員長から活動方針の説明やディスカッションが行われました。最後に全体会議で部門別協議会報告を行い閉会しました。



【地区活動報告】



2022年度 米山記念奨学生入学式

オリエンテーション・カウンセラー研修


2022学年度の米山記念奨学生入学式とオリエンテーション・カウンセラー研修が2022年4月10日(日)に和歌山JAビルで開催されました。


午後1時から、入学式の前に奨学生オリエンテーションとカウンセラー研修会が並行して行われ、オリエンテーションでは、新本 地区米山学友小委員長奨学生が「守ること・1年間の行事等」について、続いて、董 涛 学友会会長が「卓話について」話しました。このほか、学友会についての説明がありました。また、カウンセラー研修会では、玉井 地区米山記念奨学委員長の講義が行われました。

入学式では、森本ガバナーエレクト、玉井 地区米山記念奨学委員長がそれぞれ挨拶。確約宣言、米山ピンバッチ贈呈などがおこなわれました。



奨学生♥学友の窓口
For Scholars & Alumni: Various procedures available on this web page

 海外応募者対象
ロータリー米山記念奨学金
Rotary Yoneyama Scholarship
for Overseas Candidate

学友の里帰りで感動を共有しよう！
ホームカミング制度 

【地区活動報告】

第40回 RYLA研修セミナー

地区青少年・RYLA委員長 橋本 竜也

地区青少年・ライラ委員会は、4月29日～5月1日、2泊3日行程にて和歌山県日高郡由良町の和歌山県立「白崎青少年の家」で第40回RYLA研修セミナーを開きました。

コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年、開催できていませんでしたが、本年度は感染防止に努めることで、ようやく開催することができました。

RYLA研修セミナーは「ロータリー青少年指導者養成プログラム」であります。今回は内容の高度化、ハイレベルな実習の実施の観点から、参加対象年齢を20歳以上とし、第2640地区内の各地から、ロータクト、同OB、米山記念奨学生、そして一般学生/社会人の方々の参加を頂きました。

初日、受付では、まず、コロナ対策として検温、抗原検査を実施、開校式、オリエンテーションでは、講師、カウンセラー紹介、RYLAセミナーと施設使用の説明が行われました。基調講演としては川口先生他3名のアシスタントの方を招き、演題のサバイバルに関する講義を実施いたしました。セミナー生においては講義の内容が特殊な点から大変熱心に興味をもって講師の方の話に聞き入っていました。

予定ではセミナー期間中の宿泊は、1人/1張のツーリングテントを設営しそこで野営するというものでしたが、この日の天候はなんと暴風雨、そして2泊目も天候不順で講師の方の判断で、テント設営実習のみとなりました。主催者といしましては、セミナーの性質から多少のアクシデントのもとでも宿泊体験させてやりたかったところですが、危機管理の点から講師の方の判断を優先させました。夜は、バーベキューです。調理は共同作業で親交を深め、明日からのプログラムや共同演習に備えました。その他、主だったプログラムとしては、公助に繋げる「シグナルテクニク」体温の保持について、野外プログラムとしてテント設営・水の確保について・火おこしについて・食について等を学びました。

2日目に夕食は竹を緊急調理器具とした炊飯とサバイバル飯でした。初日はどこか不慣れ不器用さが見られたセミナー生ではありましたが、2日目の調理は見事な連携と共同作業で進められ、若さの順応性と適応力に我々も感心させられました。最終日については講義終了後、RYLAプログラムとして、テーマ討論会、発表資料作成後、感想報告レポートを各自作成し、その後、ロータリー学友委員会総会が行われました。

閉校式では、研修生全員に修了書授与され、3日間のセミナーを修了しました。

コロナ禍で2年度にわたり開催が出来なかったRYLA研修セミナーでしたが、今回、実施できたことを大変うれしく思います。

20歳以上と限定致しましたが、募集段階から「20歳以下の参加はできないでしょうか？」と言った問い合わせもあり、20歳以下へのセミナー企画の設定等の課題も残すところとなり、次年度委員会へこれらを託したく思います。開催については多数の方のご協力とご支援をいただくことが出来ました、委員長として深く感謝し、お礼申し上げます。ありがとうございました。

次年度またご参加くださいますようよろしくお願い致します。

※ 当初掲載しておりました記事に誤り等がありました。訂正してお詫び申し上げます。

